

令和3年7月梅雨前線に伴う大雨について (第1報)

【川内川水系】

九州地方整備局
令和3年7月14日

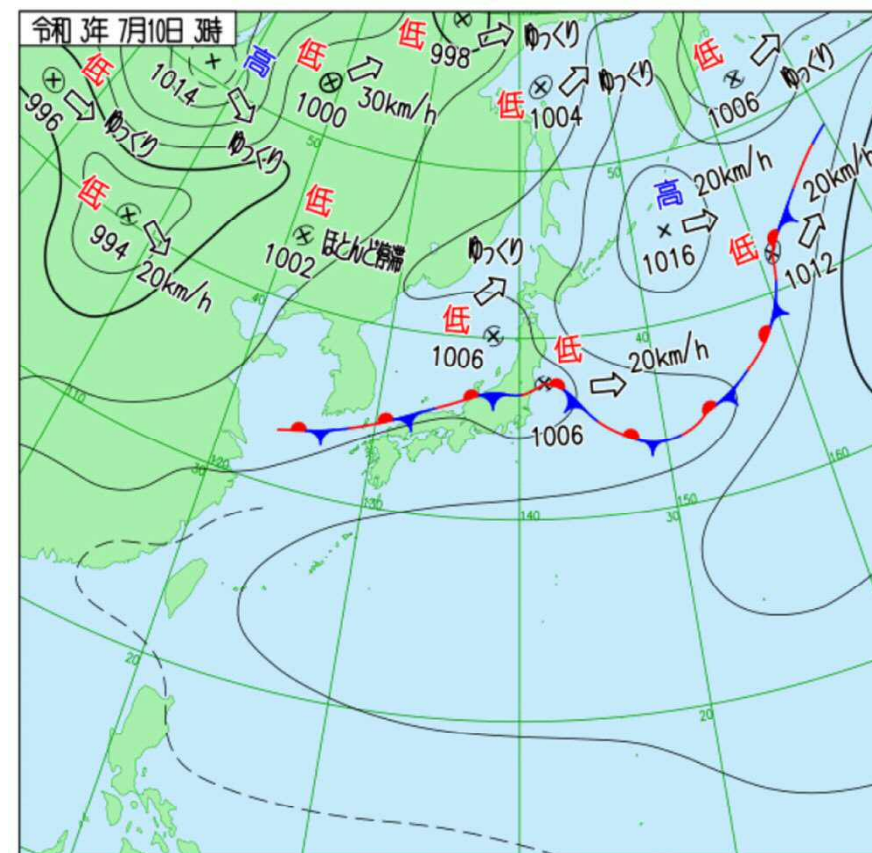
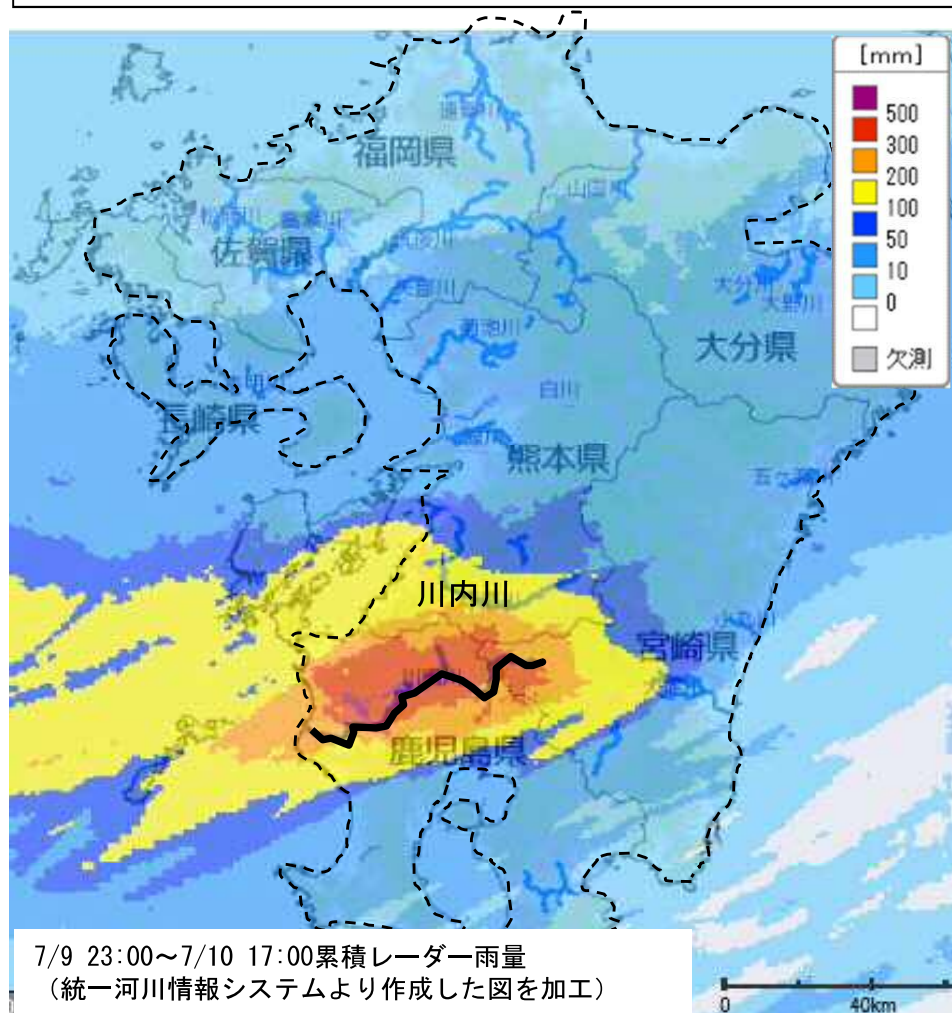
※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります

目次

1. 気象・降雨の概要	1
2. 降雨の状況	2
3. 水位の状況	3
4. 被災箇所の対応	1 2
5. 鶴田ダムの洪水調節について	1 3
6. 河川改修事業及び鶴田ダム再開発による被害軽減について(川内川 下流部)	1 4
7. 河川改修事業による被害軽減について(川内川 上流部)	1 5

1. 気象・降雨の概要

- 7月9日夜遅くから10日昼前にかけて、梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、九州では大気の状態が非常に不安定となり、鹿児島県北部を中心に線状降水帯が発生。鹿児島県出水市、伊佐市、薩摩川内市、さつま町、湧水町、宮崎県えびの市、熊本県人吉市に大雨特別警報が発表されました。
- 福岡管区气象台によると、8日から10日の3日間の降水量は、さつま柏原（さつま町）^{かしわばる}で553.5ミリ、紫尾山（さつま町）^{しびさん}で553.0ミリを観測し、7月の月降水量（平年値）に匹敵する大雨となりました。

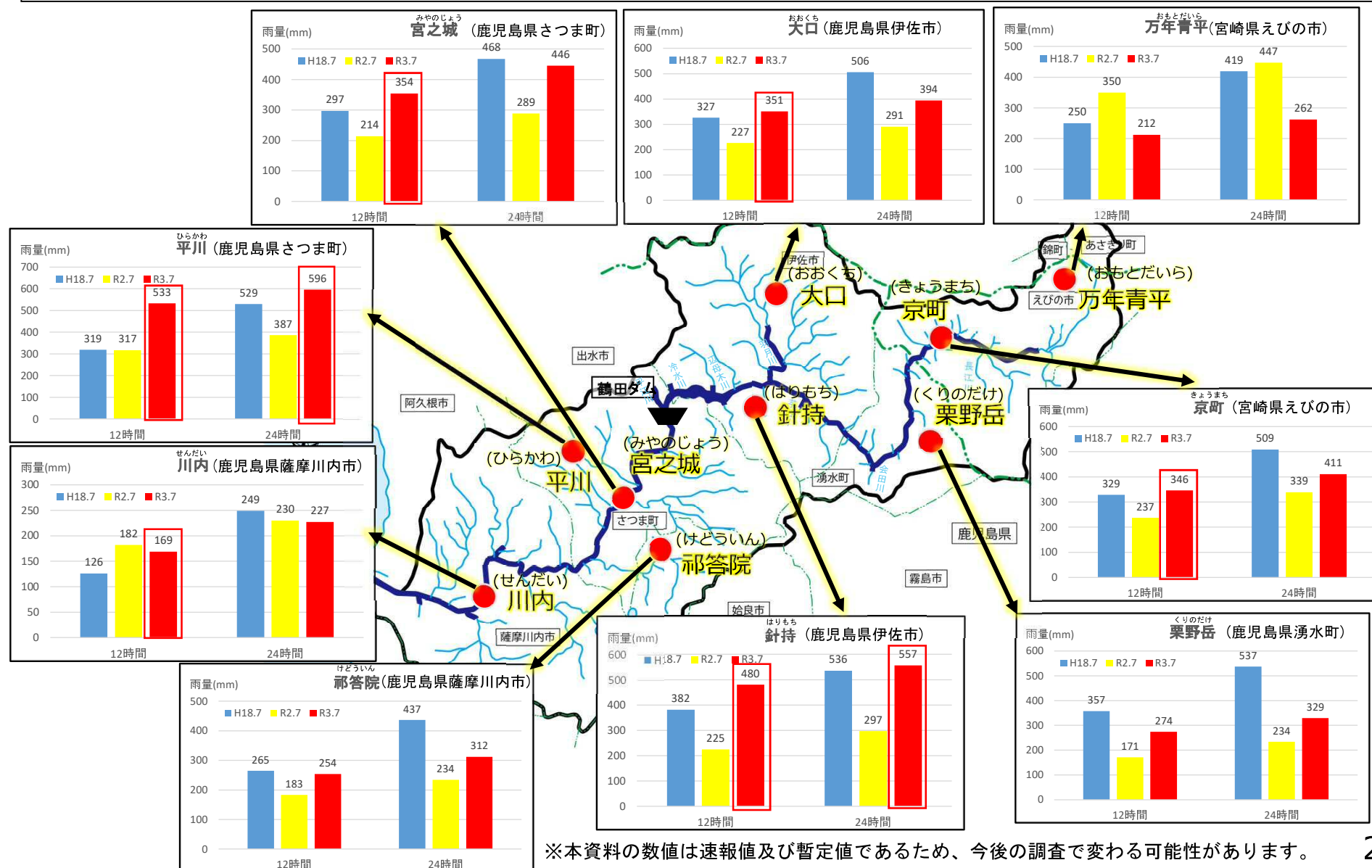


天気図（気象庁HPより）

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

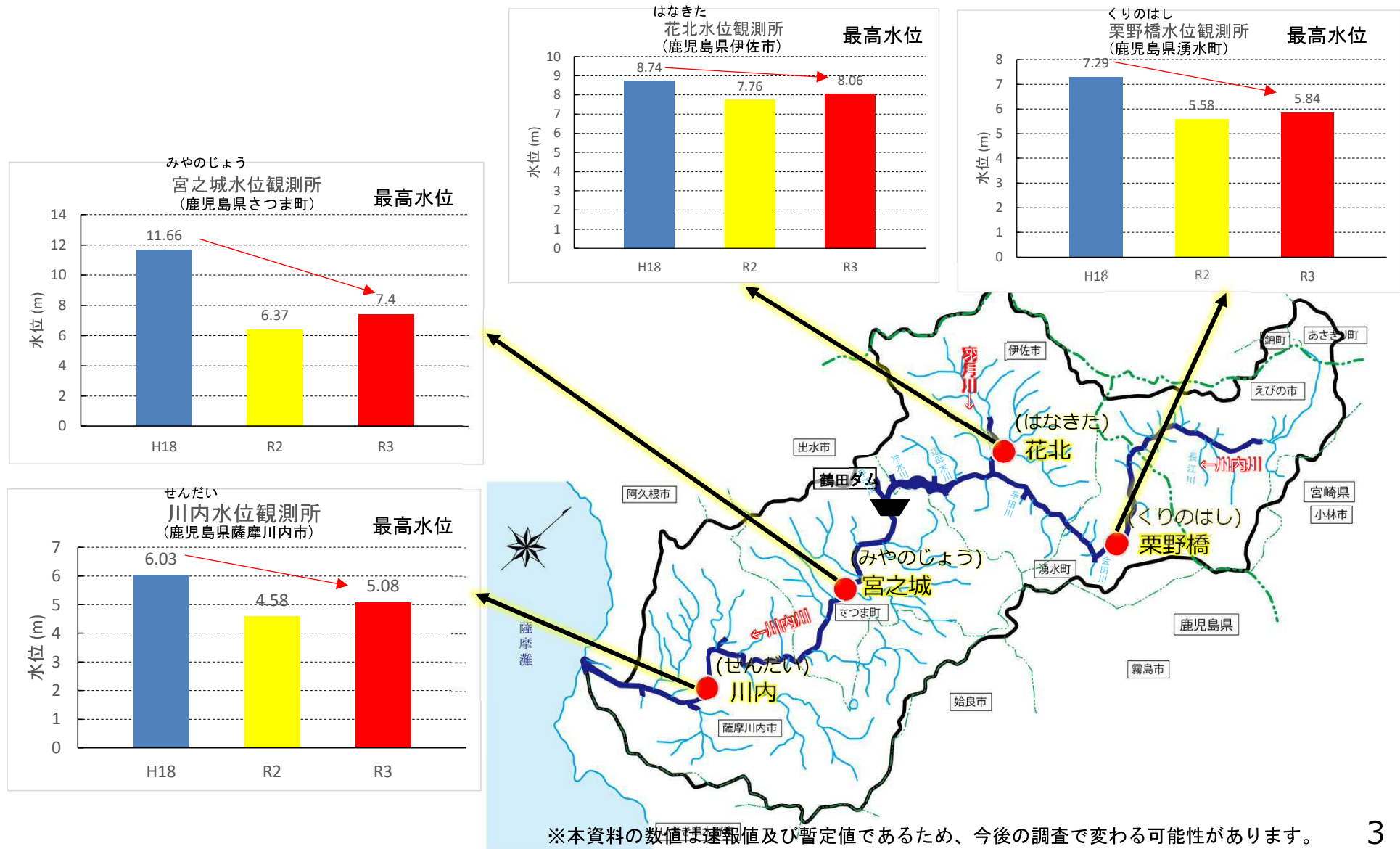
2. 降雨の状況（川内川流域）

- 川内川流域では、流域内の各雨量観測所において戦後最大の洪水被害をもたらしたH18.7洪水に匹敵する12時間雨量・24時間雨量を観測しました。



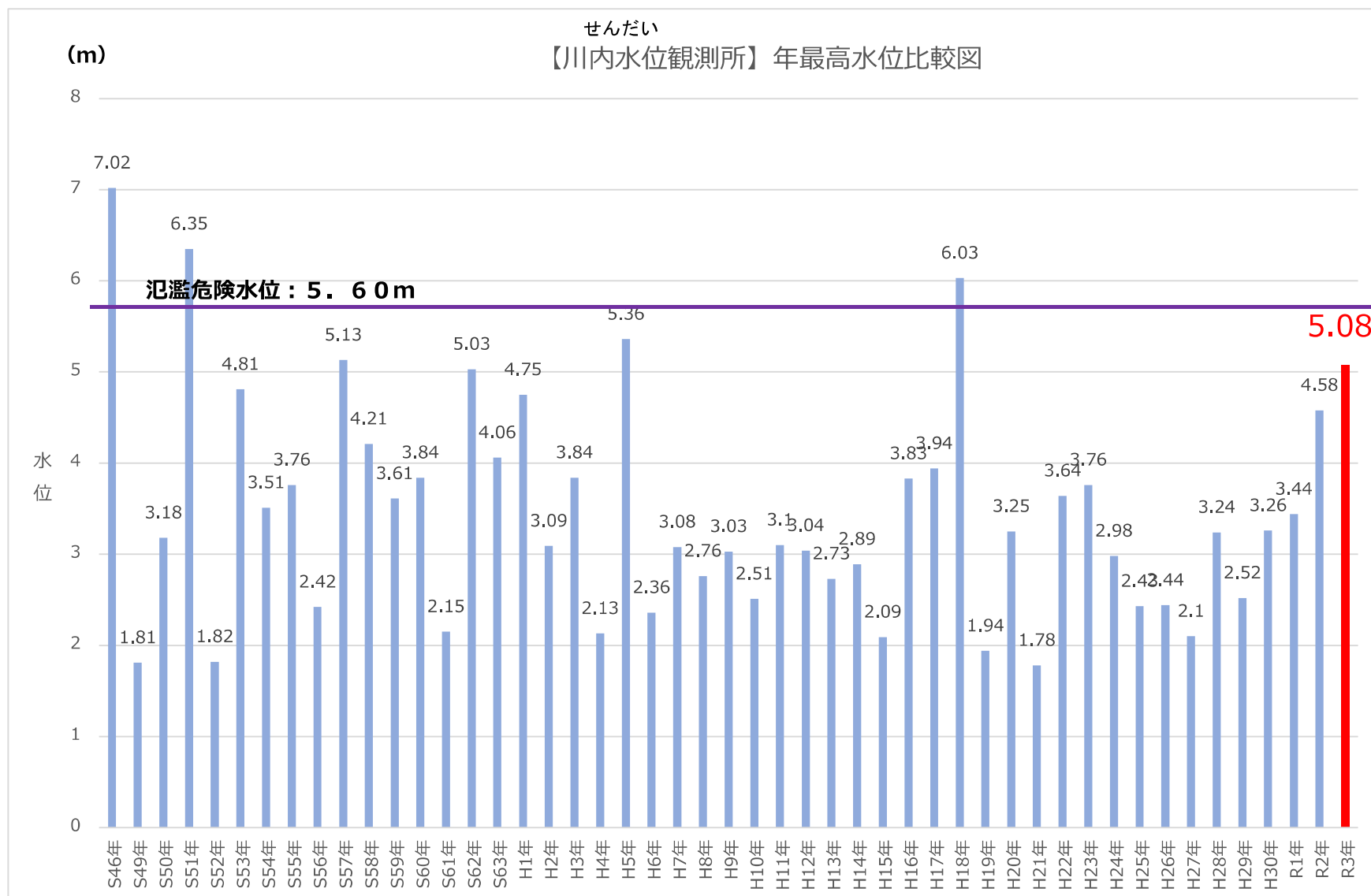
3. 水位の状況（川内川流域）

- R3.7出水は、H18.7出水に匹敵する降雨だったものの、川内川流域内の各観測所の水位はH18.7出水を
下回る水位を記録しました。



3. 水位の状況（川内川 川内水位観測所）

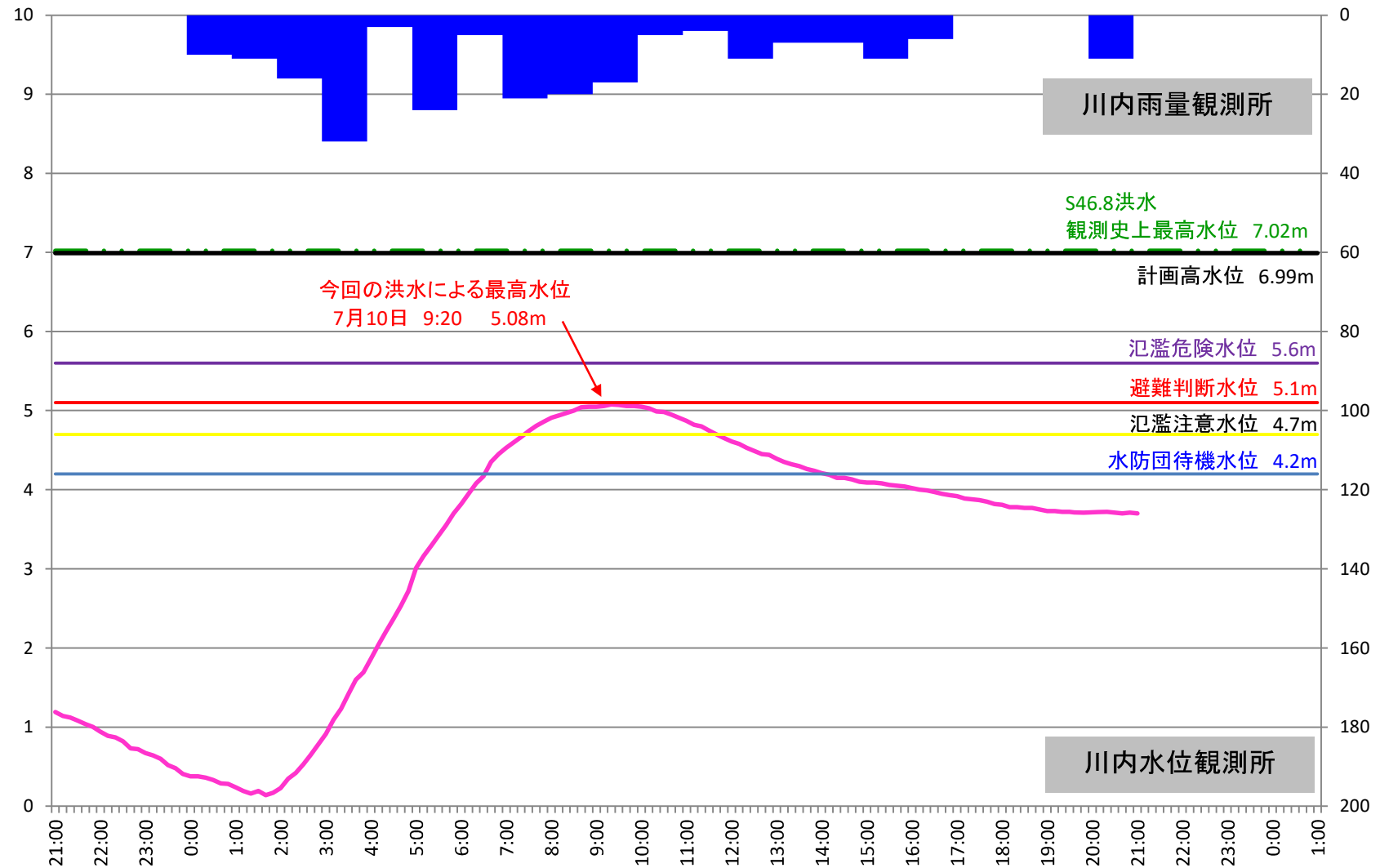
○ 川内川の川内水位観測所において、避難判断水位（5.1m）に迫る5.08mの水位を記録しました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（川内川 川内水位観測所）

水位(m)



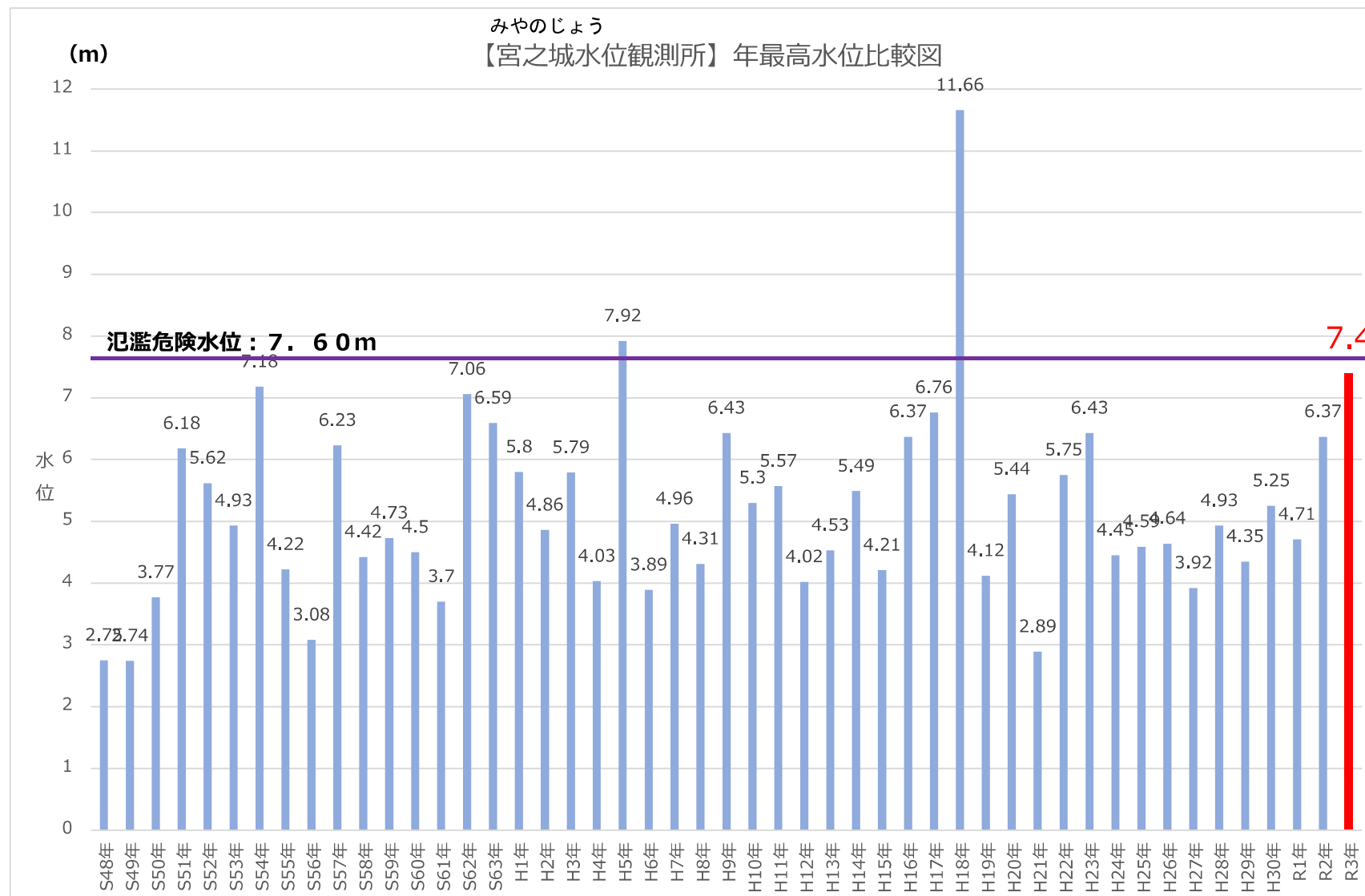
R3.7.9

R3.7.10

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（川内川 宮之城水位観測所）

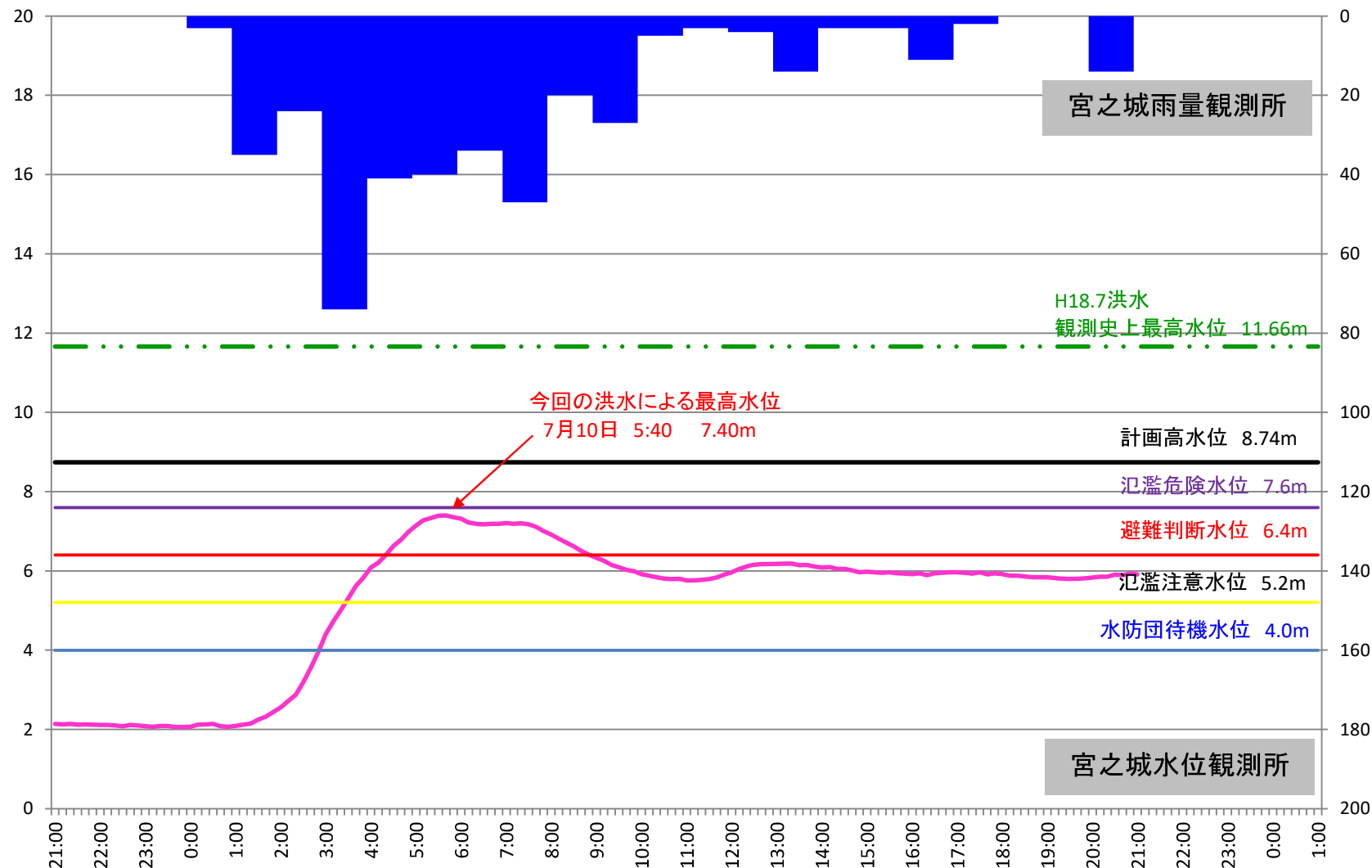
○ 川内川の宮之城水位観測所において、氾濫危険水位（7.6m）に迫る7.4mの水位を記録しました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（川内川 宮之城水位観測所）

水位(m)



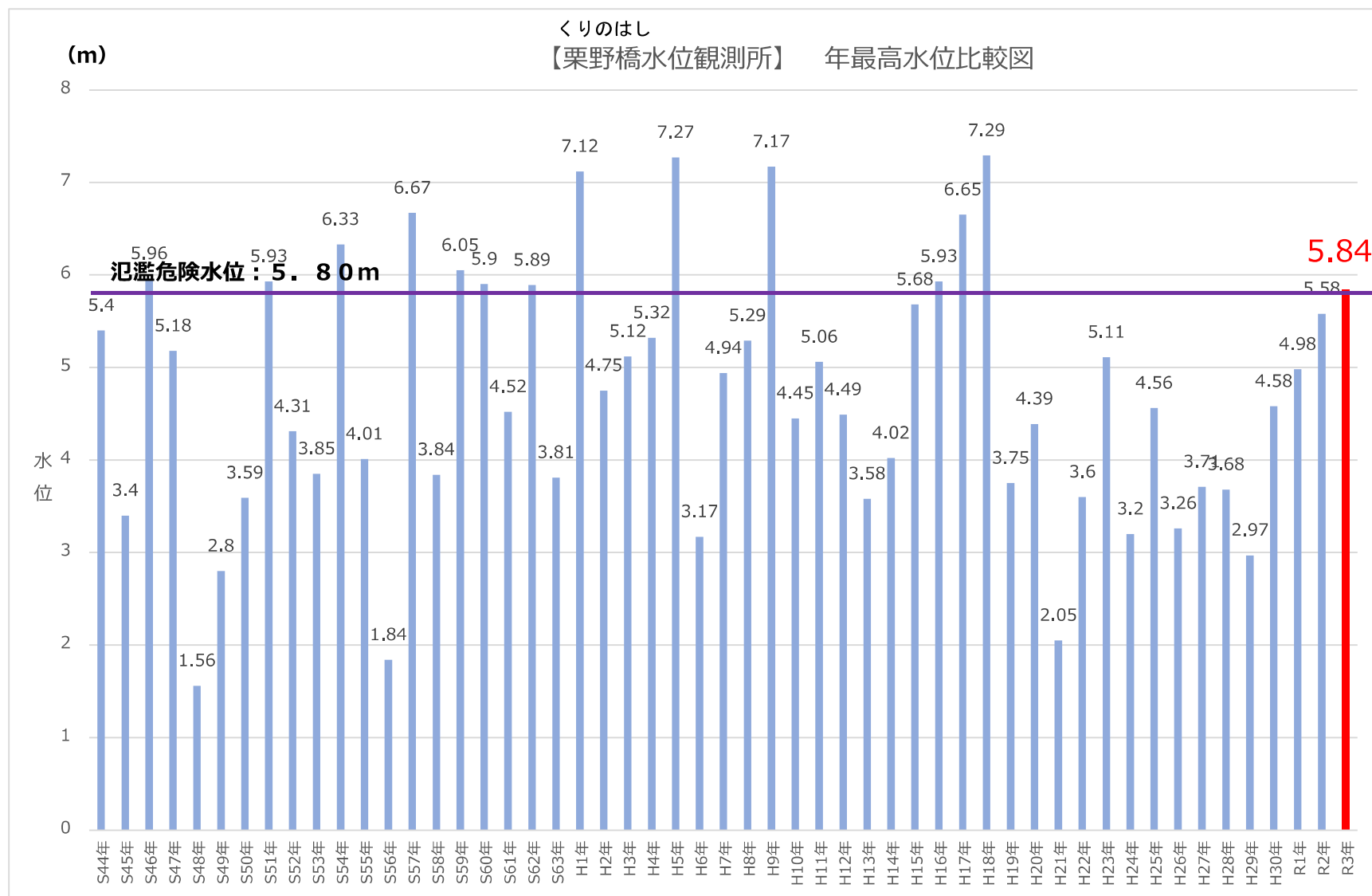
R3.7.9

R3.7.10

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（川内川 栗野橋水位観測所）

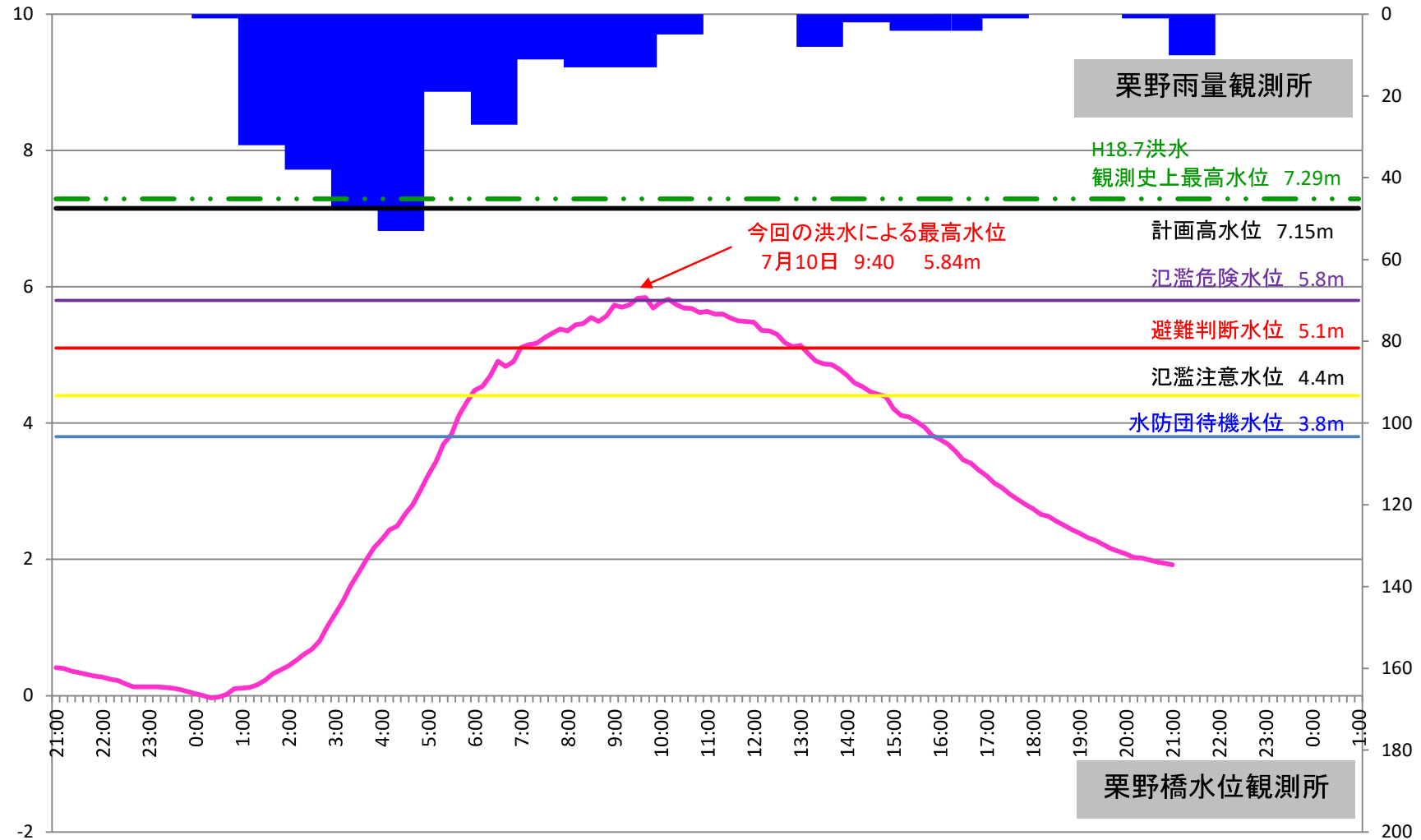
○ 川内川の栗野橋水位観測所において、氾濫危険水位（5.8m）を超える5.84mの水位を記録しました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（川内川 栗野橋水位観測所）

水位(m)



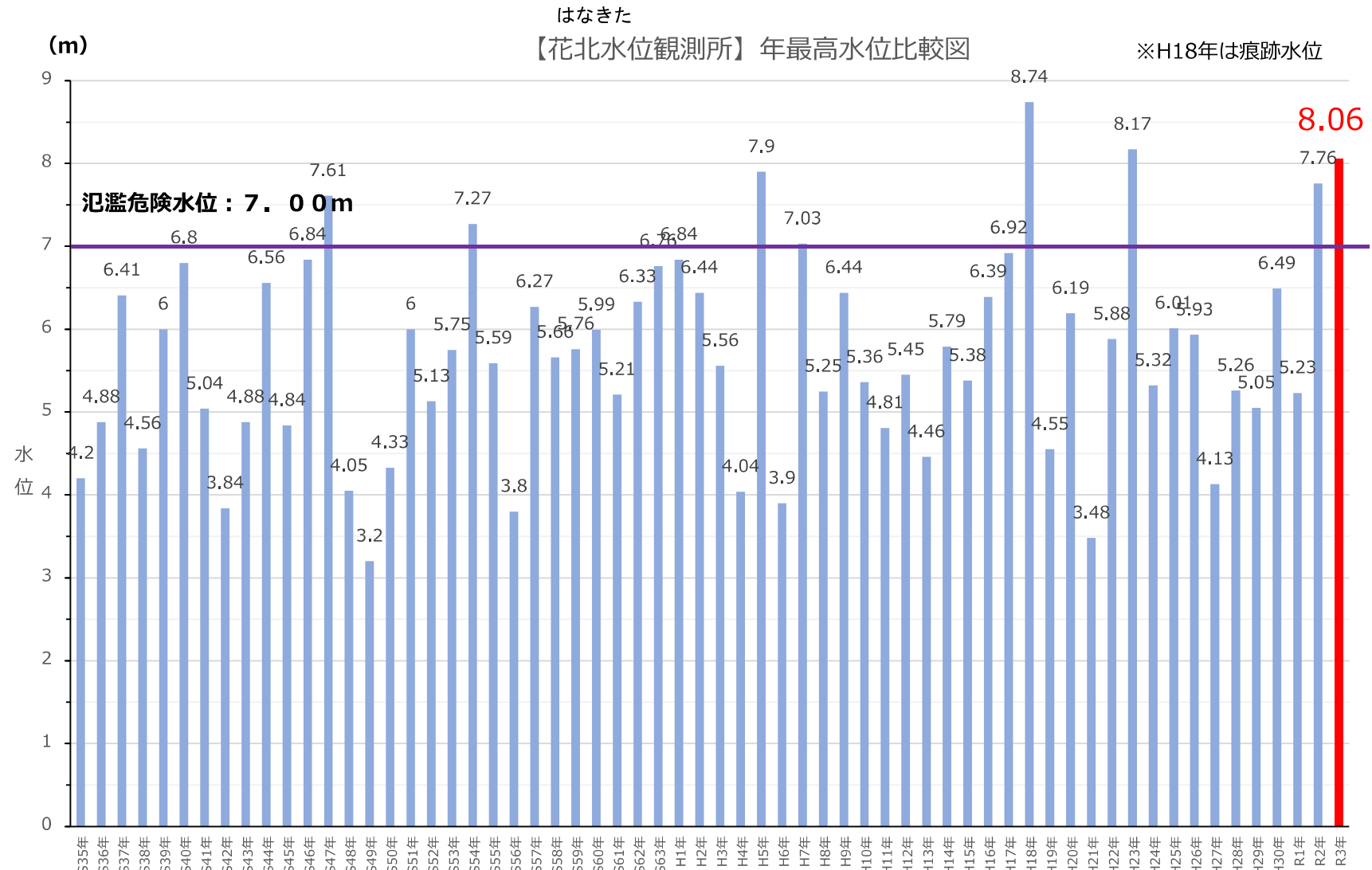
R3.7.9

R3.7.10

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

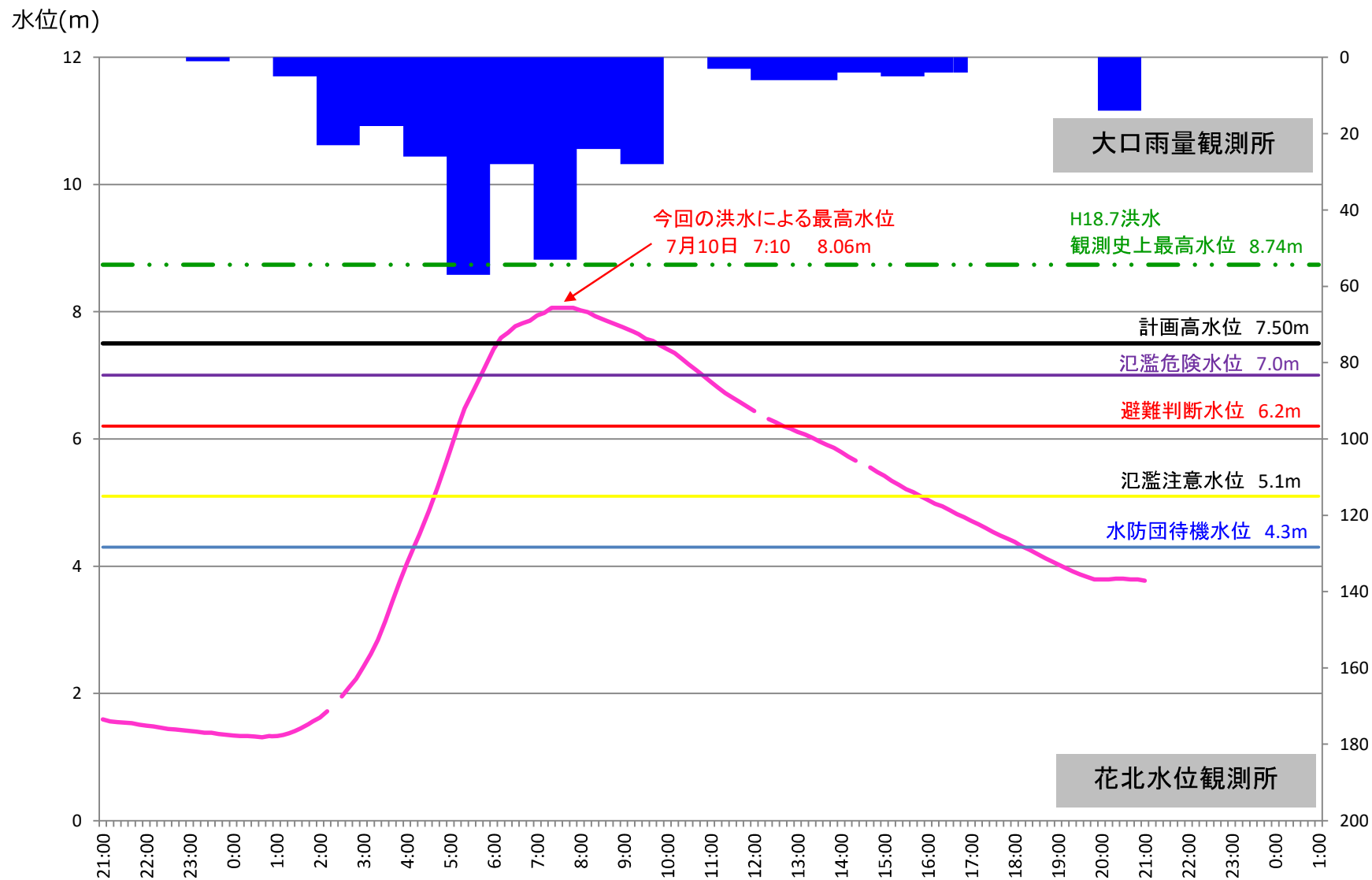
3. 水位の状況（羽月川 ^{はづきがわ} 花北水位観測所）

○ 支川羽月川の花北水位観測所において、堤防や護岸設計の基本となる計画高水位（7.5m）を超過する8.06mの水位を記録しました。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

3. 水位の状況（羽月川 花北水位観測所）



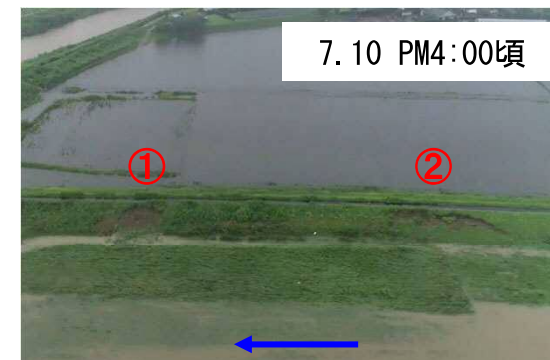
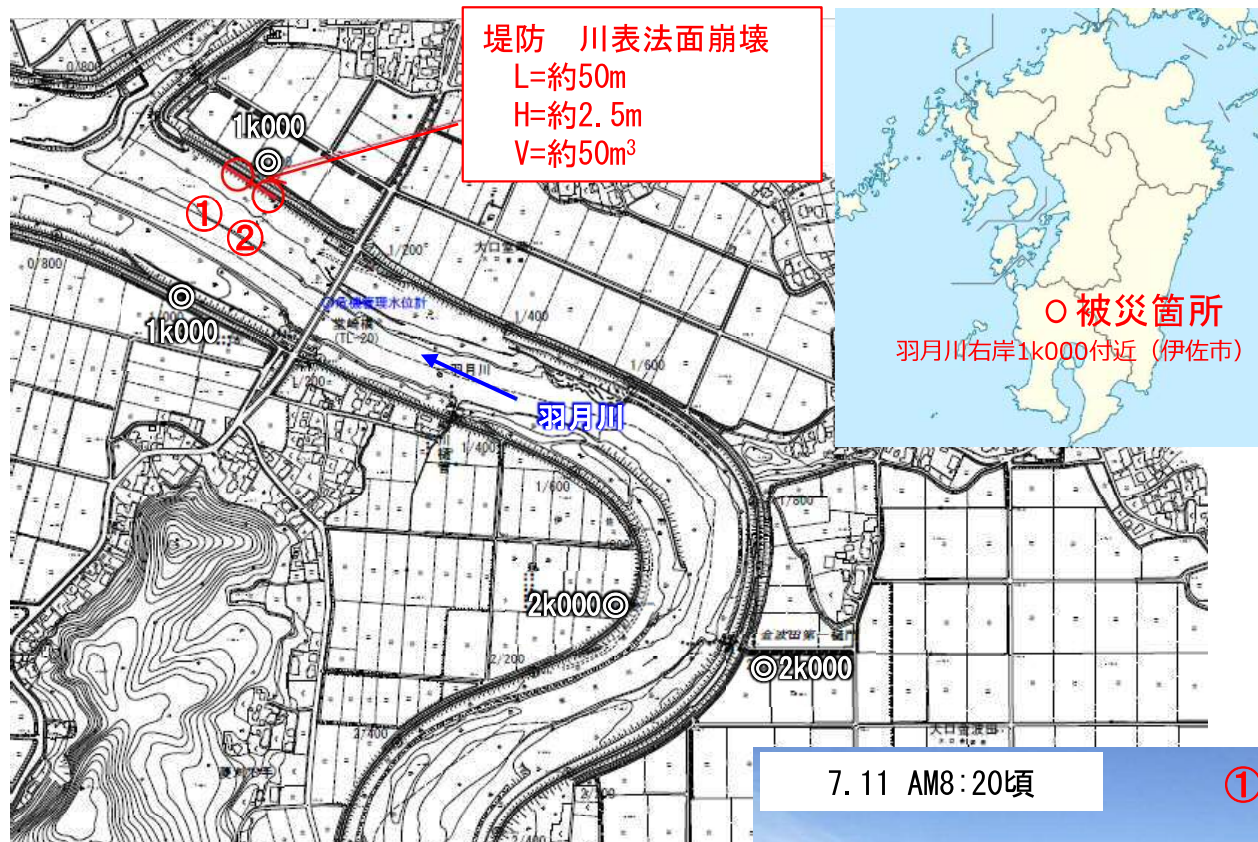
R3.7.9

R3.7.10

※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

4. 被災箇所への対応（羽月川）

- 7月10日（土）11時30分頃、羽月川右岸1k000付近（伊佐市）の堤防で、川側法面の小規模な崩壊が確認されました。
- 当日18時05分に復旧工事に着手し、11日（日）8時20分に復旧を完了しました。



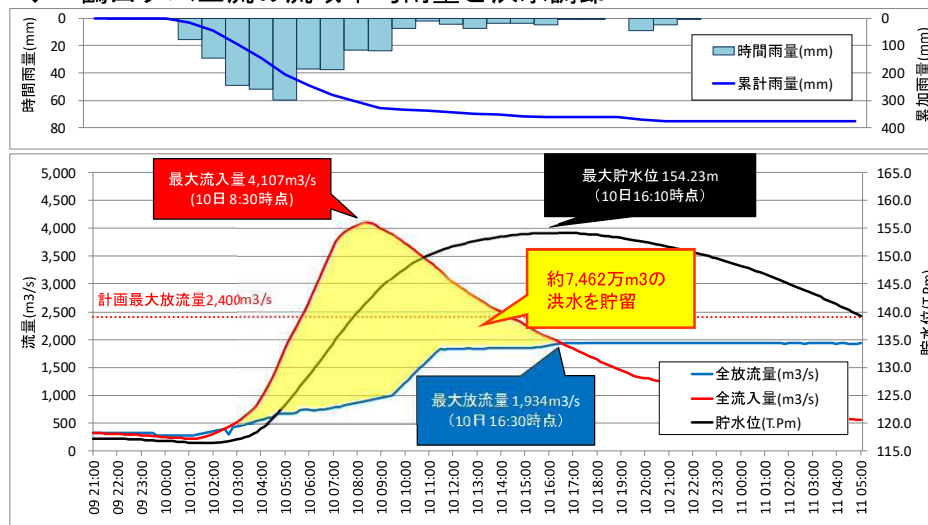
対応経緯

- 10日11時30分頃 被災発見
- 10日18時5分 復旧工事着手
- 11日8時20分 復旧完了

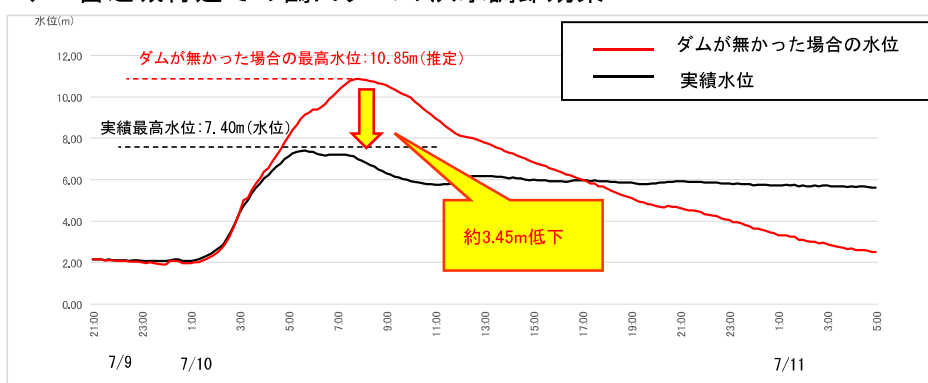
5. 鶴田ダムの洪水調節について ～今回の洪水で鶴田ダムが無かった場合～

- 鶴田ダムでは、7月10日未明よりダムに洪水の一部を貯めて下流河川の水量を減らして水位を下げるための洪水調節を実施しました。
- 今回の出水では、H18.7出水を上回る最大流入量を記録し、洪水調節容量の約76%にあたる洪水を貯留しました。
- 鶴田ダム下流の宮之城観測所付近（さつま町）では、ダムの洪水調節により約3.5mの水位が低減したと推定され、堤防からの氾濫被害を防止しました。

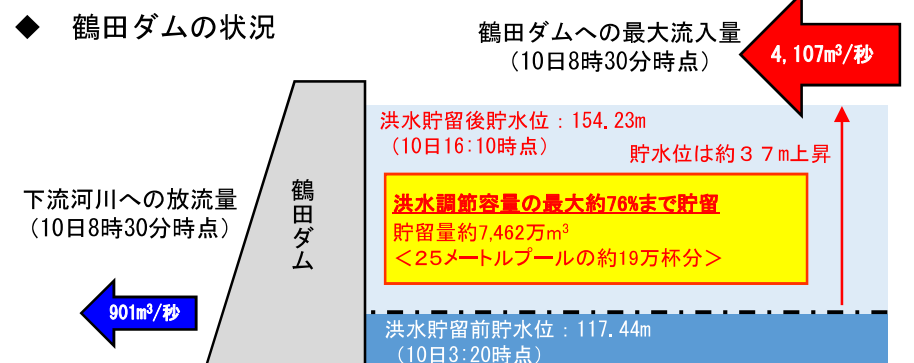
◆ 鶴田ダム上流の流域平均雨量と洪水調節



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの洪水調節効果



◆ 鶴田ダムの状況



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

6. 河川改修事業及び鶴田ダム再開発による被害軽減について(川内川 下流部)

【H18.7洪水との比較】

- 川内川では、H18.7出水により浸水戸数2,347戸など甚大な被害が発生したため、激特事業等の河川改修及び鶴田ダム再開発により河川・ダム一体となった治水対策を実施。
- R3.7出水は、H18.7出水に匹敵する降雨であったが、宮之城水位観測所地点の水位は、H18.7洪水時の最高水位と比べて約4.26m低く、治水対策の効果発現により被害を軽減。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。

【H18.7洪水との比較】

- 川内川では、H18.7出水により浸水戸数2,347戸など甚大な被害が発生したため、激特事業等により治水対策を実施。
- R3.7出水では、H18.7出水に匹敵する降雨であったが、吉松^{よしまつ}水位観測所地点の水位は、H18.7洪水時の最高水位と比べて約1.59m低く、治水対策の効果発現により被害を軽減。



※本資料の数値は速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります。